HANACO
はなこ
HANA COMMUNICATION PAPER
http://www.fukuhana.jp/

2016
11・21
No.35

【特集】
～花の魅力を次世代に伝えたい～
花育への取り組みレポート

◎ PICK UP FLOWER SHOP　あなたの街の花屋さん
◎ 花と素敵な週末を。WEEKEND FLOWER 報告
◎ 鋏・花の慰霊祭を執り行いました
◎ 花の農場見学とフラワーアレンジメント教室開催！
◎ 若者育成事業 × 九州沖縄ブロック合同研修会開催！
◎ 部会活動報告

空が一段と高くなり、冴えたコバルトブルーが
紅葉の美しさを引き立てる秋。
菊は、この季節を彩る花の代表格です。
品位や品格の象徴とされ、
「高貴・高潔」といった花言葉は
皇室の家紋であることに由来します。
まっすぐにのびた茎の先に花をつける姿は、
気高さと美しさとともに
強い生命力を感じさせます。

PICK UP FLOWER SHOP　vol.35

雑居ビルの1階にある

JR小倉駅から北九州モノレールで13分、守恒駅から歩いて3分ほどの当店は、今年の3月に開業10周年を迎えました。お客さんの多くは20代から30代の女性で、最近はSNSを見て来店する方が増えているようです。

店内では、インテリアの一部として花を飾る方法を提案。鳥かごの中に鉢を入れる、アンティーク雑貨を添えるなど、自宅で簡単に取り入れられるようディスプレーに工夫をしています。また、今年の夏から「ウイークエンドフラワー」の取り組みを始めました。週末に自宅に花を飾り、家族やパートナーとのんびりと過ごそうというコンセプトです。花のある生活のよさを知ってもらい、花を身近に感じてもらえるよう努めています。

当店ではおもに予約注文とインターネットで花を仕入れています。都合がつかずなかなかセリに参加できないため、市場に足を運ばなくても花の出荷時期や価格などの情報がリアルタイムで分かるようになるとうれしいですね。

季節感のある小物を使ったディスプレー

雑貨店のような雰囲気

FLOWER SHOP
chocotttes
（セリ番号:北九州55）

DATA
所在地：北九州市小倉南区守恒本町1-12-23 102号
TEL：093-964-7474
営業時間：10:00～18:00
休み：木曜

部会活動報告

カーネーション部会

8月24日（水）、カーネーション部会は、花屋さんの視察と意見交換会を行いました。

今回視察させていただいたのは、博多駅周辺に店舗を構える4店舗で、ICHIRINN博多マルイ店様、青山フラワーマーケット博多阪急店様、DAY&FLOWER様、フローリスト・リバティ博多店様です。参加者は2班に分かれて店舗を回りました。

各店舗では、店員さんより時間帯ごとの客層や販売する際の戦略など、さまざまなことをお話しいただきました。また、お客さんが実際に花きを購入している様子も見ることができました。

視察終了後は、福岡県内に店舗を構える花商さん4名にご参加いただき、「国産のカーネーションを使っていただくためにはどのようにしたらよいか」という議題で、意見交換会を行いました。花商さんからは、「前処理剤でしっかり水揚げをして、花のクオリティーを上げてもらいたい」、「スプレーは1本1本芽摘みしてもらいたい」、「前売りのネットで購入する時代だからこそ、優品である理由（茎が細い、花が固い）などをしっかり標記してほしい」といった貴重なご意見をいただきました。

球根部会

球根部会員6名は、8月26日（金）～27日（土）に、北海道のJA北いしかり管内を視察しました。

最初に、JA北いしかり当別花卉選花場を訪れました。平成4年に建設されたこの施設は、施設面積1650㎡の中に、予冷庫4基、共選ライン1基が設置されています。6月中旬から10月末にかけてパートの方7名で、多いときには1日4万本、年間約100万本の共選のカーネーション・ヒマワリ・バラを仕分けしているとのことでした。この地区の花き生産組合員数は89名で、ユリを中心に、カーネーションやカスミ草、デルフィニウム、ヒマワリ、トルコギキョウなどを栽培しています。販売市場は関東や関西が中心ですが、福岡花卉農協にも出荷していただいており、販売額は約10億円とのことでした。

次に、百合部会長の木屋路喜代史氏の圃場を視察させていただきました。木屋路氏は、おもにオリエンタルユリを栽培しています。面積102aのハウスは、植え付け間隔が広く、トラクターなどの大型機械が数台あり、規模の大きな農業がなされていると感じました。この中で栽培されているユリは大変質が良く、札幌花き卸売市場で開催される「北海道切花品評会」において、「農林水産大臣賞」を受賞されたこともあります。しかし今年は、北海道も暑かったため、奇形花が多いとのお話でした。

続いて、須藤正昭氏のダリアを見せていただきました。黒蝶やシベリアなどの品種が、1m間隔で植え付けられていました。参加者にダリアを生産されている方がおられ、自分と北海道の栽培方法の違いなどについて話が弾んでいました。須藤氏の娘さんは、大阪のお花屋さんに勤めた経験があるそうで、花屋さんの視点で、どんな品種のダリアやユリを栽培するかを選んでいるとのことでした。

さらに、カラー部会長大江正人氏の圃場を視察させていただきました。大江氏は、北海道オリジナルの純白のカラー「サッポロ」のほか、黄色やピンクのカラーも栽培されています。収穫されたカラーは、全体を水洗いして汚れを落とし大田市場などに出荷され、ブライダルなどに使用されているとのことでした。

最後に、中田恵二氏のオリエンタルユリを視察させていただきました。倉庫に入ると、傾きがある作業台、マット、そしてヒートポンプが設置してありました。ヒートポンプのほうがエアコンより安価で、省エネにもなるとのことでした。

北海道視察

鉢物部会

本支所鉢物部会は合同で、山梨と長野で開催された花きや資材の展示商談会「フラワートライアル2016」に参加しました。この展示商談会参加者のみに行われる優先販売があり、新品種の商品を探すことも兼ねた視察でした。

本所鉢物部会は9月28日（水）～29日（木）、支所鉢物部会は、初めてのフラワートライアル参加ということで、山梨の会場も視察するため、9月27日（火）～29日（木）の日程で視察を行いました。

28日（水）、支所鉢物部会は、はじめにサントリーフラワーズ会場を視察しました。この会場は、小渕沢ICから車で10分程の八ヶ岳高原にあり、マックスマムやピーダンスなど色鮮やかな鉢花が、多数提案商品として展示されていました。

続いて、M&B Flora会場を視察しました。温室2棟に、13の種苗・資材の業者が出展され、会場はにぎわっていました。この会場では、「フィスタグランデ」というバラ咲きのインパチェンスが好評でした。また、近年ではクリスマスローズに力を入れているようでした。

次に訪れたメイン会場の茅野市民会館にて、本所鉢物部会と合流し、視察を行いました。約50の種苗と資材の業者が集まったこの会場には、（有）井上農園様や（有）グリーンショップマエハラ様などの生産者の方も多数出展されており、花屋や園芸店、ホームセンターなどのバイヤーに営業されていました。

5番目に訪れた（有）H&Lプランテーション会場では、タキイ種苗（株）様より、ペチュニアのギュギュシリーズについてお話を聞きました。説明によると、このシリーズは毎年種類を増やしており、今年はピーチアイスという品種が加わり、全部で15色になったそうです。芽吹きがよく、梅雨や夏の暑さにも傷みにくく、育てやすいとのことで、参加者たちは購入を勧められていました。また、（株）ムラカミシード様は、パンジーを前面に出して紹介していました。そのなかで、参加者の方の注目を集めていたのが、灌水時に、根に空気を与えて根の張りをよくする資材でした。ホースに着けるタイプや散水ノズルに着けるタイプなどがあり、価格もお手頃だったので、みなさん興味津々の様子で業者の方からお話を聞いていました。

29日（木）は、参加者の方より「ぜひここに行きたい」とのご希望をいただいき、（有）おぎわら植物園様を視察しました。ハウスを見せていただくと、クレマチスの原種や、見たことのない宿根草が多々あり、とても驚きました。生産者の方も驚きは同じだったようで、買い物かごを片手に、購入する植物を選んでいました。参加者の方々にとっては、少ないリスクでお試し栽培ができることが大変魅力的だったようで、数年後にもう一度、（有）おぎわら植物園様を視察したいというお声をいただきました。

【はなこ】11月号
2016年11月21日発行
通巻123号
● 発行・編集
福岡県花卉農業協同組合
〒812-0064
福岡市東区松田1丁目3番20号
TEL：092-621-6767
FAX：092-611-0139
Email:
info-fukuhana@ja.fukuhana.or.jp
http://www.fukuhana.jp
● 企画・印刷 有限会社 大進印刷
編集・（株）クロス編集事務所

平成28年度採用　JAグループ福岡　人権啓発標語

～思いやりの　心にかける　金メダル～
～忘れない　あなたにもらった　その笑顔～

人権週間　2016年12月4日～12月10日

特集
～花の魅力を次世代に伝えたい～
花育への取り組みレポート

福岡県花卉農協では、子供たちにもっと身近に花や緑の大切さを感じてもらい、「やさしさ」や「美しさ」を感じる豊かな心を培っていくとともに、新たな花とみどりの需要創造、花きの消費拡大を目指すための花育活動を行っています。専門部会活動や福岡県花卉農協の事業の一環として行われている花育活動につきまして、平成28年度の取り組み状況と今後の予定をご報告します。

● 福岡県立筑水高等学校

一般草花部会は、10月26日（水）に、部会役員の母校でもある福岡県立筑水高等学校（久留米市）において今回初めてとなるフラワーアレンジメント教室を実施しました。久留米地区の花商さん2名を講師としてお招きし、38名の高校2年生に参加していただきました。

今回は、ハロウィン（10月31日）が近いということで、ハロウィンをイメージした作品づくりです。生徒の皆さんは、楽しそうにカボチャやリンゴに竹串をさし、使う草花の色や配置を決めていました。「フラワーアレンジメントをするのは小学生以来の体験です。」と話しかけてくれた生徒さんがいたので、他の生徒さんにも聞いてみたところ、経験者が6名いました。また、「オレンジのカボチャの横には、赤いバラを置いたほうがいいよ」などと友達にアドバイスしている生徒さんもいました。そのセンスに、「将来、お花屋さんになってくれないかな」と思いました。最初は苦戦していた生徒さんたちも、最後にはきちんとまとまった豪華なハロウィンの作品を作り上げていました。リンゴをツルにぶら下げたり、ガーベラの花で目を作ったり、胡椒の枝で手を作ったり、とても個性にあふれていました。

筑水高校 ハロウィンの作品を作りました

● 福岡市立中央児童会館あいくる

8月26日（金）には、福岡県花卉農協が主体となり、「親子で楽しむ」をコンセプトとした花育活動を行いました。子育て支援団体「ハミングビック」様にご協力いただき、福岡市中央区の今泉にある福岡市立中央児童会館あいくるで行われた「親子フラワーアレンジメント教室」は、4歳から小学生までのお子さん30名と保護者の方20名にご参加いただきました。参加者たちは、講師の吉本フラワースクール様の指導のもと、福岡県産のヒマワリを主役に使ったアレンジメントの作成にチャレンジしました。

● RKB住宅展

9月11日（日）のRKB住宅展小倉南、9月18日（日）のRKB住宅展小倉北では、北九州生花商協同組合青年部の方々に講師をお願いし、福岡県産のお花を使った「親子フラワーアレンジメント教室」を実施しました。各会場で、お子さん20名と保護者の方15名が参加され、福岡県産のお花を使用したアレンジメントの作成を楽しまれました。

さらに、10月9日（日）のRKB住宅展小倉南、10月16日（日）のRKB住宅展小倉北では、ガーデニング教室を実施しました。親子20組のご参加をいただいた教室では、ガーベラやリンドウなど福岡県産の花苗を使った寄せ植えを親子で楽しまれました。

11月以降も、各教育機関などで花育活動を行ってまいります。詳しくは、左記リストをご参照ください。

花育活動　平成28年度の取り組み実績と今後の予定

8月26日(金)	福岡市立中央児童会館あいくる	(福岡市中央区)
9月11日(日)	RKB住宅展小倉南	(北九州市)
9月18日(日)	RKB住宅展小倉北	(北九州市)
10月 9日(日)	RKB住宅展小倉南	(北九州市)
10月16日(日)	RKB住宅展小倉北	(北九州市)
10月19日(水)	博多青松高等学校	(福岡市博多区)
10月25日(火)	横手小学校	(福岡市南区)
10月26日(水)	筑水高等学校	(久留米市)
11月 1日(火)	原北中学校	(福岡市早良区)
11月 2日(水)	東光中学校	(福岡市博多区)
11月 3日(木・祝)	ソラリアゼファ	(福岡市中央区)
11月 4日(金)	赤坂小学校	(福岡市中央区)
11月 6日(日)	福岡市立中央児童会館あいくる	(福岡市中央区)
11月 8日(火)	春吉中学校	(福岡市南区)
11月10日(木)	三筑小学校	(福岡市博多区)
11月11日(金)	老司小学校	(福岡市南区)
11月24日(木)	糸島農業高等学校	(糸島市)
12月 6日(火)	原北中学校	(福岡市早良区)
1月13日(金)	東光中学校	(福岡市博多区)

鋏・花の慰霊祭を執り行いました

9月26日（月）午前6時35分から、北九州花市場にて福岡県花卉農協、北九州生花商協同組合主催による合同の「鋏・花の慰霊祭」を執り行いました。

北九州花市場で行われた今回の慰霊祭には、花店・花市場・生産者・生花仲卸関係者ら約50人が参加しました。

参加者たちは、色とりどりの花や使い終わった鋏などを並べた祭壇に向かって、この1年、生活を支えてくれた四季折々の花や鋏への感謝と哀悼の意を捧げるとともに、今後の商売繁盛を祈念しました。

式典後、祭壇に飾られた45個のフラワーアレンジは、老人ホームや保育所、福祉施設などへ寄付されました。

また、当日は早朝にもかかわらずRKB、KBC、TVQの3社の取材があり、慰霊祭の様子をお昼のニュースなどで放送していただきました。

花の農場見学とフラワーアレンジメント教室開催！

福岡県では、県産の農林水産物を積極的に購入しようという世帯に「ふくおか農業応援ファミリー」として登録していただき、県の農林水産業や農山漁村地域に対する応援の輪を広げています。この活動の一環として、応援ファミリーの方を対象に、「ふくおか農林水産業体験ツアー」を実施しています。

10月8日（土）に、糸島市にてふくおか農林水産業体験ツアーが実施されました。福岡県花卉農協も協力した今回のツアーには、6歳から73歳までの幅広い世代の方々30名にご参加いただき、花の農場見学とフラワーアレンジメント教室を行いました。

まず初めに、JA糸島営農総合センターにて、JA糸島の花き担当職員の方より糸島地区で生産されている花などの概要説明がありました。

その後、花き生産者の圃場へ移動しました。最初は、バラ生産者の高田和義氏です。温室では採花作業が行われており、生産に関する説明を受けたあと、参加された方々は選別作業などを見ながら、品種名や栽培で気をつけていることなどを質問していました。2軒目は、大原重信氏のトルコギキョウです。現在出荷しているものは、夏場の高温や最近の日照不足による影響を受け、高品質の花の出荷が難しいなどの生産現場の苦労話を聞くことができました。

午後からは、よしもとフラワースクールの吉本ひろえ氏を講師に迎え、糸島産の花を中心にアレンジメント教室を行いました。花材は、トルコギキョウ、バラ、スプレーマム、糸キク、オンシジューム、メラレウカ、レザーファンを使用しました。参加者の方々は、はじめ花を挿すことに少し戸惑っている様子でしたが、時間が経つにつれて楽しそうにアレンジを行い、立派な作品を仕上げていました。

今回の体験ツアーをきっかけに、少しでも花に興味をもってもらえたらと思いました。

圃場を視察する参加者たち

アレンジメント教室の様子

若者育成事業×九州沖縄ブロック合同研修会開催！

10月28日（金）、福岡市博多区のホテルセントラーザ博多にて、「若者育成事業・花の国日本協議会九州沖縄ブロック委員会合同研修会」を開催しました。福岡県花卉農協の若者育成事業に登録されている生産者の方や花の国日本協議会会員の方など合わせて67名にご参加いただきました。

今回の研修会には、合同会社Branch4Life代表の安田一平氏を講師としてお招きしました。安田一平氏は東京農業大学を卒業後、関東の花屋に入社し、おもにブライダルや宴会装飾などを担当されました。福岡に戻ってからは、ご実家の（有）グリーンハート安田花卉をお手伝いし、その後Branch4Lifeを設立されました。この経験をもとに、「『農業×デザイン』を融合した花き経営に挑戦」という題で、枝物生産者の視点などを切り口に講演いただきました。

枝物を生産するうえでのメリット・デメリットや、東京と福岡の花材の種類の違いなどのお話。ご自身が参加しているコミュニティを紹介しながら語られた農業者のコミュニティに参加する大切さ。農業を若い人たちが積極的にやりたいと思えるよう、魅力的なビジネスとして推し進めていくにはどうしたらいいか。農業の担い手を育成していくために合同会社を設立した話など、これからの農業に対する熱い思いを語られました。

また、福岡県花卉農協の職員より、花の国日本協議会の活動や若者育成事業について説明をいたしました。

講演後の質疑応答では、Branch4Lifeの具体的な活動内容や生産者サイドからのデザインとは何か、また、安田氏の活動がテレビで取り上げられたのを見た方もおられて、そのことに関する質問など、さまざまなご質問をいただき、参加者の方々が、自分たちと同世代の安田氏の活動にとても興味をもたれた様子がうかがえました。

講師の安田一平氏

～花と素敵な週末を。～ WEEKEND FLOWER 活動報告

平成28年度、福岡県花卉農協は、福岡県と合同で「ふくおかの花」購買促進事業に取り組み、福岡県産の花の魅力をPRし、家庭での花きの消費拡大を図ろうとさまざまな活動を行っています。

今回は、『バリはやッ！』とのコラボ企画についてご紹介します。

『バリはやッ！』は、FBS福岡放送が提供する情報番組で、毎週月～金の朝5時20分～6時30分に放送されています。福岡県花卉農協では、FBS福岡放送にご協力いただき、番組内でWEEKEND FLOWERの情報を発信しています。7月より始まったこの企画では、毎週金曜の朝5時45分前後にWEEKEND FLOWERの特集を組んでいただき、福岡県産のお花を紹介しています。また、毎週その週に紹介したお花を使ったアレンジメントを視聴者の方にプレゼントしており、たいへん好評をいただいております。

さらに、9月12日よりセリとの連動企画も開始しました。毎週月曜のセリ開始前に、その週の金曜に番組で紹介するお花の品目を買参人のみなさまへ告知しています。『バリはやッ！』で紹介したお花が、週末に店頭に並ぶことで、視聴者の方がお買い求めしやすくなったのではないかと思います。

今後もさまざまなWEEKEND FLOWERの企画を実施し、福岡の花の魅力を県民に発信し、より多くのご家庭に福岡の花を飾っていただけるよう努めてまいります。